

日本海信用金庫とTKC会員が トップ対談を開催

日本海信用金庫とTKC会員によるトップ対談が開催され、地域企業の経営課題や事業承継、人材不足などについて意見交換を行いました。金融機関と税理士が連携し、地域企業の存続・発展を支えていくことの重要性を再確認しました。

【出席者】

■日本海信用金庫

徳富悠司 理事長

清水敏文 常務理事

桐田哲也 融資部 事業サポート課 課長

河野洋介 融資部 融資課 課長代理

■TKC中国会島根県支部石見部会

竹内宏規 TKC中国会 中小企業支援委員長

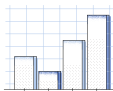
佐多 宗 TKC中国会 島根県支部石見部会長

近重 勉 TKC中国会 島根県支部石見部会窓口会員



地域企業を支える「パートナー」として

冒頭、TKC側からは、「税理士と金融機関は地域の中小企業を支える重要なパートナーであり、地域活性化のため、今後も連携を深めていきたい」との挨拶がありました。日本海信用金庫からも、TKC会員との連携への感謝やモニタリング情報サービス有効活用、事業承継や経営改善支援への期待が述べられました。



TKC会員の取り組み

TKC会員からは、巡回監査や経営改善計画策定支援、TKCモニタリング情報サービスを活用した金融機関との連携強化について紹介がありました。また、AI活用においては、専門家による確認を前提とした適切な活用の重要性が共有されました。



日本海信用金庫の企業支援

日本海信用金庫からは、資金繰り支援や経営改善支援、事業承継支援などの取り組みが紹介されました。また、企業の本質的な課題を見極めた支援の重要性が強調されました。



地域企業の現状と課題

意見交換では、人手不足や事業承継、資金繰り、最低賃金の引上げ、金利上昇など、地域企業が直面する課題について活発な議論が交わされました。



地域の未来のために

参加者からは、事業承継や人材育成など、地域企業が抱える課題への対応には関係機関の連携が不可欠との声上がり、今後も協力して支援を進めていくことを確認しました。



金融機関とTKC会員事務所が地域企業を取り巻く課題について意見を交わし、事業承継や人材不足、経営改善などへの対応に向けて、今後も連携を強化していくことを確認しました。